



サカイ工房 薪窯体験

小淵沢・富士見

2020年に感染拡大で延期になりました薪窯を本年4月末に予定しております。場所は小淵沢より車で15分ほどの富士見という、富士山の眺めの美しいところです。

近くには星野リゾートや絵本美術館、キースヘディング美術館、清里、温泉、おいしいお蕎麦屋などがある観光地です。酒井は期間中全日滞在しています。ご都合の良い日に日帰りでも1泊、2泊でもお出かけして薪窯をこの機会にご体験ください。

今回はアカセクレイワークスタジオの陶芸教室と一緒に薪窯を焚きます。



場所

長野県諏訪郡富士見町乙事4493-1 響工房

JR中央本線小淵沢駅又は高速バス小淵沢又は富士見より送迎します。ぜひこの機会にご体験ください。近隣にペンション、ホテル多数ありますのでご相談ください。

実施日：2020年4月26日(火)～5月1日(日)

工程：1日目に窯に作品をつめます。(この時は窯の内部へ入れる)

窯詰めが済んだ後、火を入れあぶり焼きをする。

2日目から本格的に焼き始める。

薪を交代でくべ続け、30日土曜日を最終としてめざす。

6日目、5月1日日曜日の最終日は温度の上りが悪い場合の予備日です。

窯出しはゆっくり冷ますので、また後日になります。

作品参加について

薪窯は貸窯料、薪代(これが一番高い)必要経費がかかる関係で、通常焼成費の倍以上になります。料金につきましてはその都度お尋ねください。



薪窯

薪を燃料とする窯。くべた薪の灰が作品に降り注ぎ、高温(1240度前後)で灰が溶けてガラス化(釉薬)します。灰がついてガラス化したところは光沢があり、つかないところはオレンジ色の火色がつき、作品の景色となる。作品を詰め、レンガで小窓蓋を残して蓋をし、その小窓から薪をくべて焚き続ける。

夜に窯サイドのレンガを外して中をのぞくと、砂丘の砂がサラサラと煙突へ向かって流れられていく様子はとても幻想的。窯焚き終盤になると煙突から炎がたつ様は迫力満点。ぜひ夜の窯もみてほしいです。

薪窯には色々なスタイルがあります。

今回使用する窯は穴窯という山型の窯です。

作品メニュー

灰被り・焼しめ

火色がきれいにでる土(奈良県月ヶ瀬の土)。

大型壺・花器・酒器などが最高です。薪窯の醍醐味をぜひ体験してください。

釉薬物

焼しめ土、通常の信楽・古信楽・赤土などいろいろな土が使用できる。素焼き後薪窯用灰釉または色々な通常の釉薬をかける。抹茶茶碗、器等。お皿は焼成代が高くなりやすいのでお問い合わせください。

志野

もぐさブレンド土を使用。素焼き後志野釉(2種類ある)をかける。

※お手伝いいただいた方には、ぐい呑みをいくつか無料で焼けます。お手伝いよろしくご協力ください。

2022年1月 サカイ工房